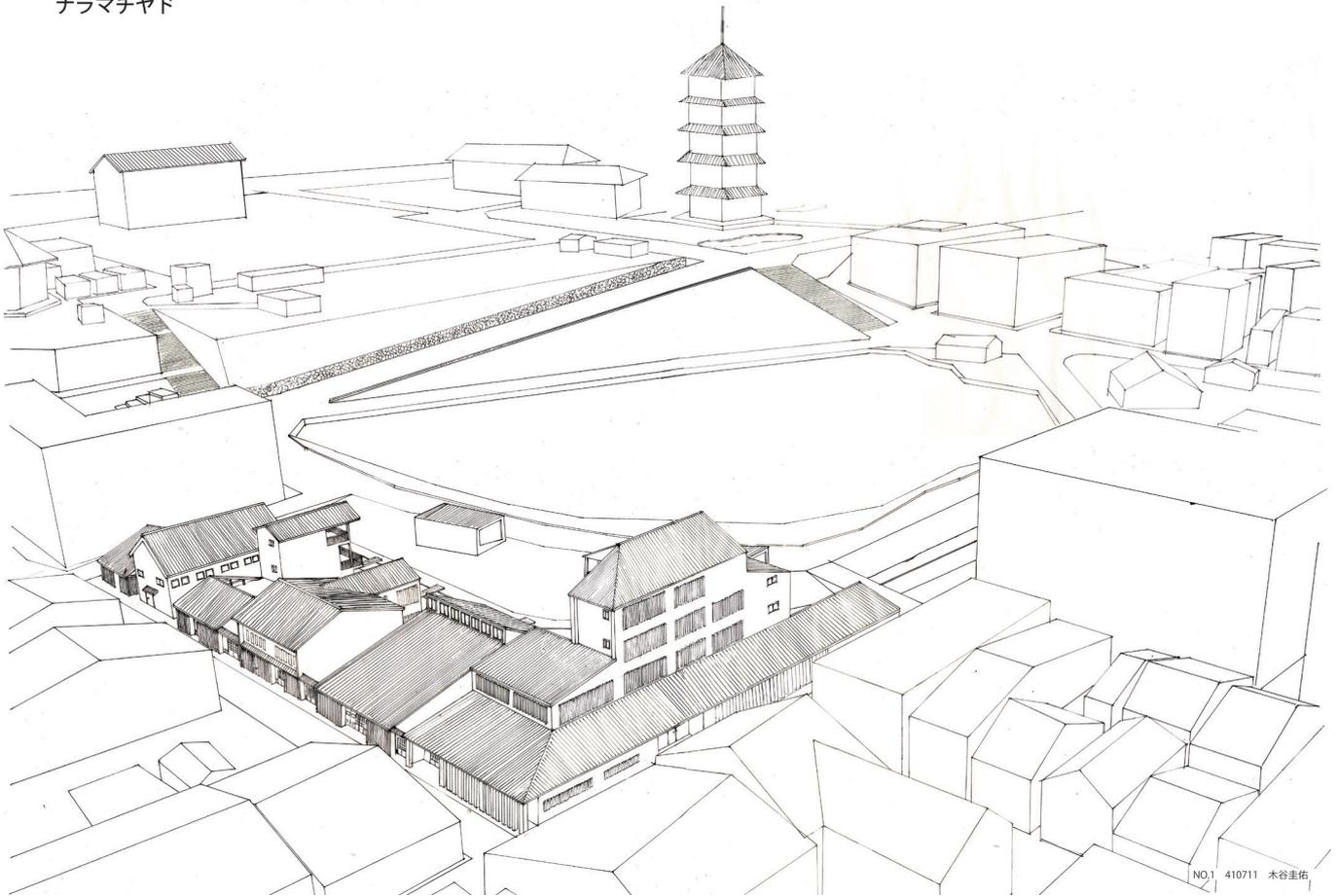


ナラマチヤド



計画敷地

計画敷地は、奈良県奈良市元林院町4丁目。現在も古くからある町屋建築を一部に残している場所である。東部には猿沢池があり、北部には「古都奈良の文化財」の一部として世界文化遺産に登録されている興福寺が見える。興福寺の五重塔を猿沢池越しに見ると、周囲の柳が猿沢池の水面に映り、とても美しい。この風景は奈良八景のひとつとなっており、市民や観光客を問わず憩いの場として人気のスポットになっている。

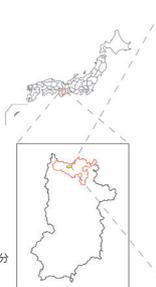
敷地周辺には世界遺産である東大寺や春日大社、春日山の原生林、元興寺があり、南には元興寺のお懸元として発展し、戦後は奈良市の旧市街地として栄えたならまちの町屋街が今もなお現存している。

敷地条件

敷地：猿沢池西湖畔
奈良県奈良市元林院町
敷地面積：3,000 m²
建蔽率：80%
容積率：400%
用途地域：商業地域
高さ制限：15m

アクセス

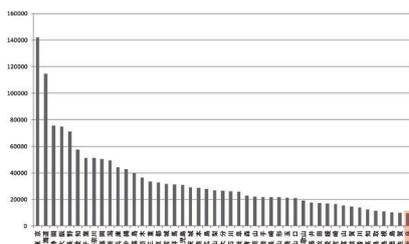
近鉄奈良駅 徒歩5分
JR奈良駅 徒歩15分
市内循環バス「大仏殿春日大社前」下車徒歩5分



都道府県別宿泊客室数 (H23)

全国でワースト1位 (9643 室)

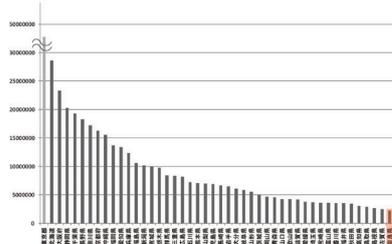
観光庁 H23 統計調査報告より



都道府県別延べ宿泊者数 (H24、1月～12月)

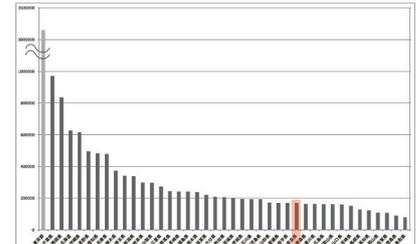
全国でワースト2位 (2230560 人)

観光庁 H24 統計調査報告より



都道府県別年間観光客数 (H23、1月～12月)

※集計結果のない富山、福井、神奈川、滋賀、京都、大阪、福島、長崎、熊本を除く
観光庁 H23 統計調査報告より



敷地現状写真



敷地を南東から見る
現在は木が插えてあるだけ



東と西で牽川を挟んで2mの
高低差がある



敷地西側、町屋建築が保存さ
れている

敷地からの景色



敷地から興福寺の五重塔を見る



敷地から興福寺の南門堂を見る

ならまちの現状写真



町屋がリノベーションされてショッ
プとして利用されている様子



奈良まちに現存する町屋街



空き家となった町屋

提案

奈良県は観光資源を豊富に持っているにもかかわらず年間観光客数は伸び悩みを見せている。年間の宿泊者数も全国でワースト2位となっており、県内の宿泊客数客が全国最下位であることから受け入れ態勢が整っていないことが問題としてあげられる。
また、ならまちでは人口の減少、若年層人口の低下と高齢化が進み、さらに古い町家が取り壊され、歴史的町並みが損なわれつつある。
本計画ではまちの駅と宿泊施設の提案を行う。

観光客の獲得

観光、歴史情報の提供、学習、体験の場を提供。
広場や休憩所、銭湯の設置。
地場産品の直売所の設置。
魅力的な宿泊施設の設立。
以上のようなまちの駅としての機能をもつ施設を作り、観光客の目的地の一つとなり、かつ、地元住民も集まる交流の場を生み出す。



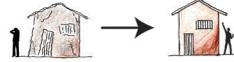
観光客は休憩所、銭湯、直売所などを通して地元住民の声を聞くことができる。
生の声はパンフレット以上の優れた情報となり、観光客はより奈良県への興味を深める。

魅力的な宿泊施設

古い町並みは徐々に取り壊されようとしている。街並み保全のためにも空家となっている町屋を宿泊施設としてコンバージョンし、ここでしか体験することのできない町家で暮らす旅を提供する。

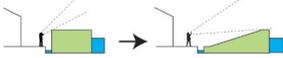
歴史、伝統の継承

かつて地域の中心に都が置かれていたこともあって、古くから優れた工芸品の制作が盛んだった。また現在もトップシェアを誇る地場産品も数多く残る。
体験、展示、販売を通して歴史や伝統を継承する。



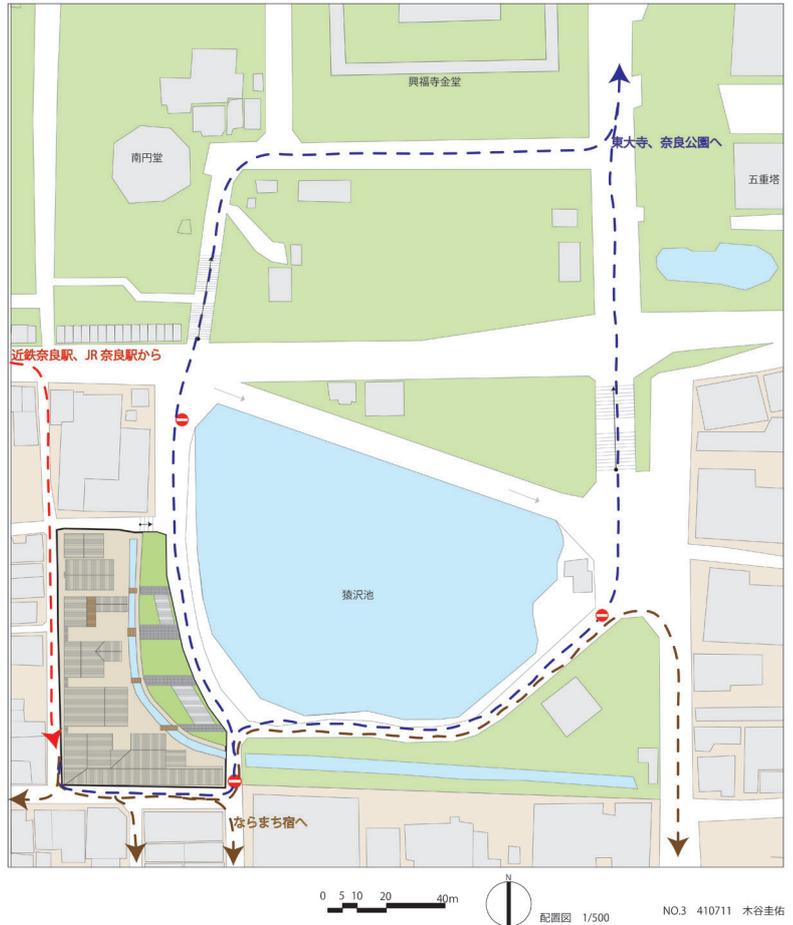
親水性のあるまちの駅

現状では敷地の西側が東側よりも2m下がっており、広場と幸川、まちの駅と猿沢池が分断されている。そのため広場を傾斜することで親水性を高め、視界をオープンにする。



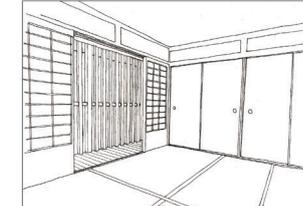
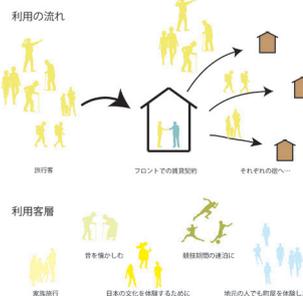
安心して利用できる空間

現状猿沢池の西湖畔は車の通行が可能になっている。しかしこれでは池と休憩所を行き来する際に危険が生じてしまう。そのため、交通規制をかけることで安心して休むことができ、美しい景観を保つことができるようになる。

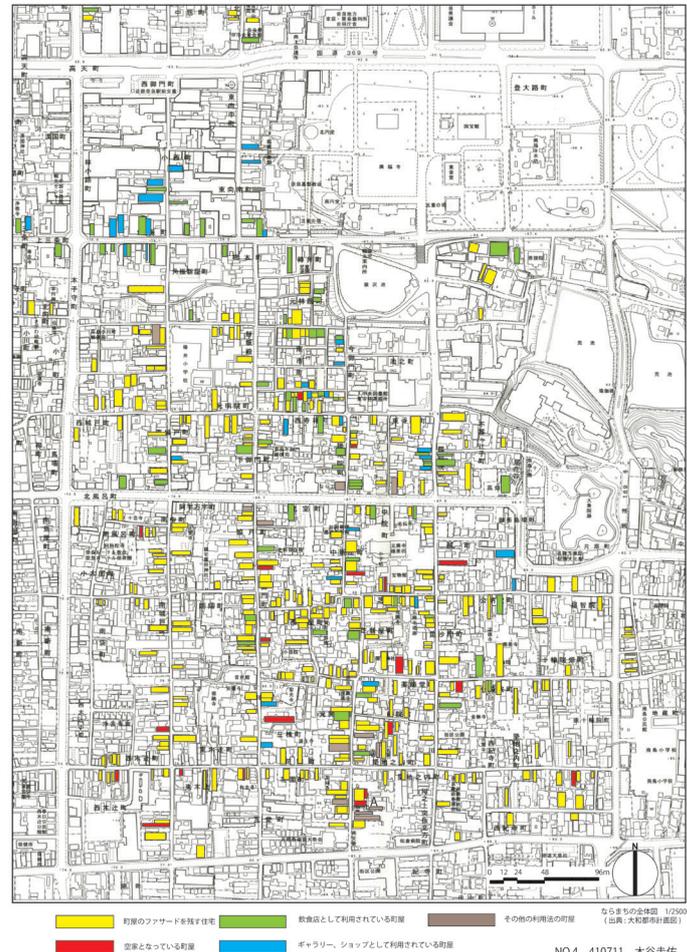
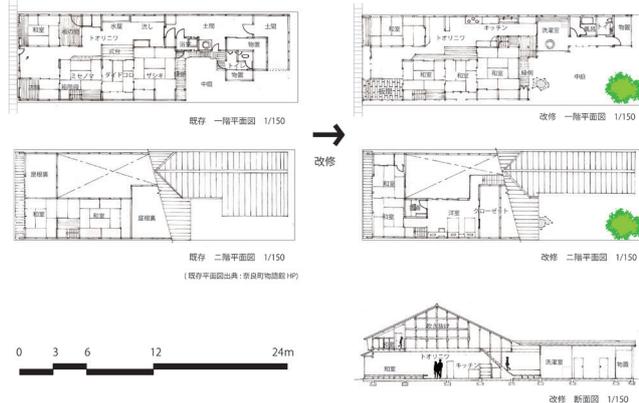


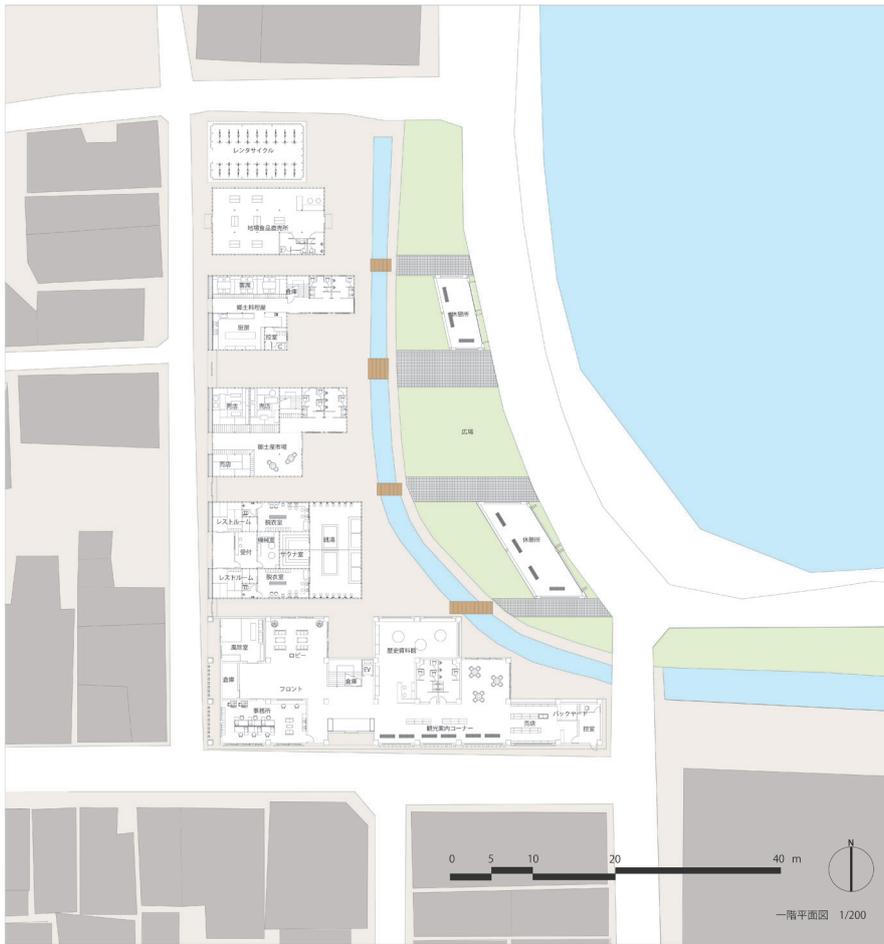
町屋に暮らす旅～ナラマチヤド～

ならまちの歴史ある町屋をコンバージョンし、宿泊施設として利用するナラマチヤドでは町屋一棟を一体に貸し出す「一棟貸し」のスタイルで運営を行う。一棟を一体で利用できるため、まわりの客を気にせずに滞在することで町屋に暮らす気分を味わうことが出来る。
通常の旅館やホテルとは異なり、超短期の賃貸借契約を結ぶことで一日～数ヶ月間の滞在を可能にする。
宿泊客はまちの駅にフロントを設置し、そこで鍵を受け取ってそれぞれのナラマチヤドへ無料のレンタサイクル等を利用して移動する。宿自体には食事などのサービスは付属していないが、ならまち内にある飲食店やショップと連携して割引サービスなどをを行うことや、キッチンの整備を行うことで地元の食材を客自ら購入し、調理することで地域の経済を盛り上げる役割も果たす。



改修の一例 (右図 A の場合)





諸室説明

「フロント」

ナラマチヤドのフロント。宿泊客はチェックイン時にここで鍵を受け取り、チェックアウト時に鍵を返却する。

「歴史資料館」

奈良市周辺の歴史を中心に斑鳩や飛鳥などの奈良県の観光名所の歴史や名産を資料や展示品で紹介する。

「観光案内スペース」

ルーバー越しに柔らかな光が差し込む場所で観光客に観光情報を提供する。

「ホテル」

フロント棟の2-4階。ナラマチヤドとは異なり、短期間専用の宿泊形態。

「銭湯」

宿泊客のみならず地元の方々、日帰りの観光客へも開放された銭湯。様々な人々が利用することで癒しの場+情報交換の場となる。

「郷土産市場」

奈良県の有名な地場産品や工芸品を中心に販売を行う。町屋建築をコンバージョンした施設。

「工芸体験室」

奈良団扇、高山茶笥、手漉き和紙などの伝統工芸品を実際に作ることでできる体験教室。時期によって内容は変化する。

「郷土料理屋」

地元食材を用いた料亭。母屋は町屋建築をコンバージョンしたもの。西側には新たに3階建ての棟を建築した。2、3階からは狭沢池、具福寺の眺めが広がる。

「地場食品直売所」

地元で採れた新鮮な食品や加工食品の直売所。ここで購入したものは休憩所で食事したりやナラマチヤドで宿泊客が自ら調理して食べることができる。

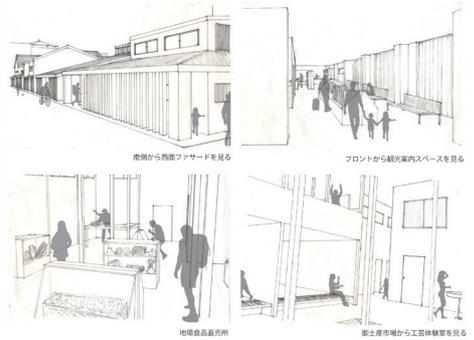
「レンタサイクル」

ナラマチヤド利用者には無料で自転車をレンタルする。それ以外には有料でのレンタルとなる。

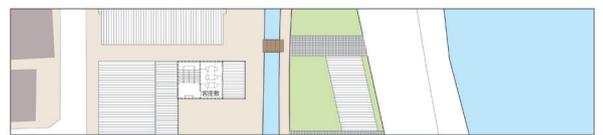
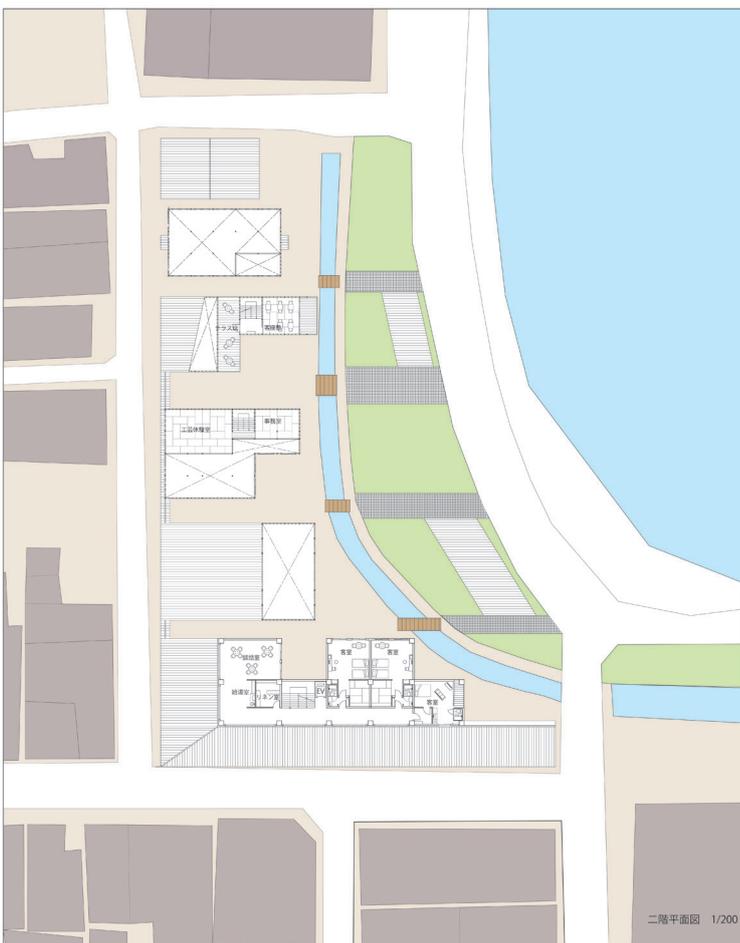
「休憩所・広場」

狭沢池湖畔に広がる広場と休憩所。串川から丘状に2mあがっている。芝生はすべて開放された。様々な人々が利用することで癒しの場+情報交換の場となる。

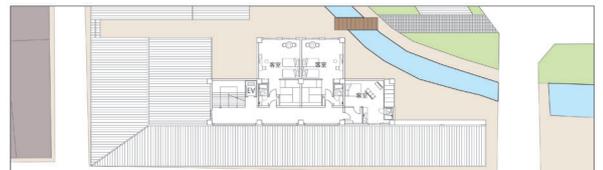
フロント棟…1150㎡ (客室8室…350㎡)
銭湯…220㎡
郷土産市場…150㎡
工芸体験室…75㎡
郷土料理屋…230㎡
地場食品直売所…110㎡
レンタサイクル…70㎡
休憩所…110㎡



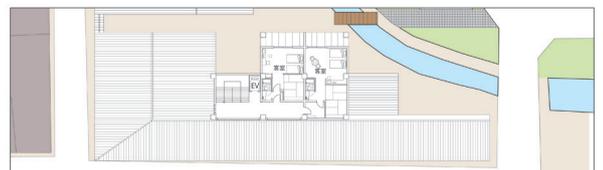
NO.5 410711 木谷圭佑



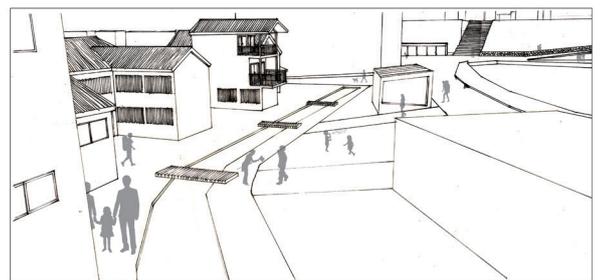
郷土料理屋 三階平面図 1/200



フロント棟 三階平面図 1/200



フロント棟 四階平面図 1/200



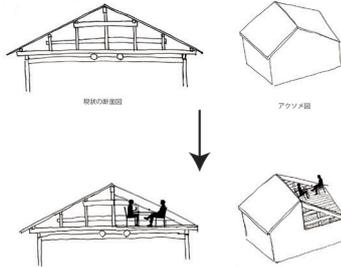
3階客室から串川を眺める



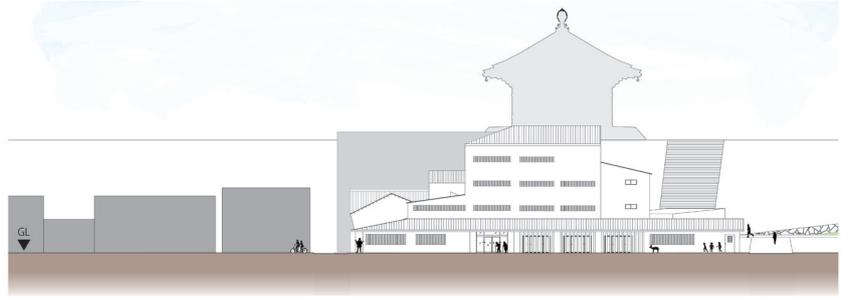
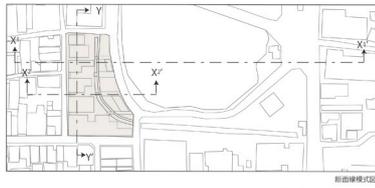
NO.6 410711 木谷圭佑



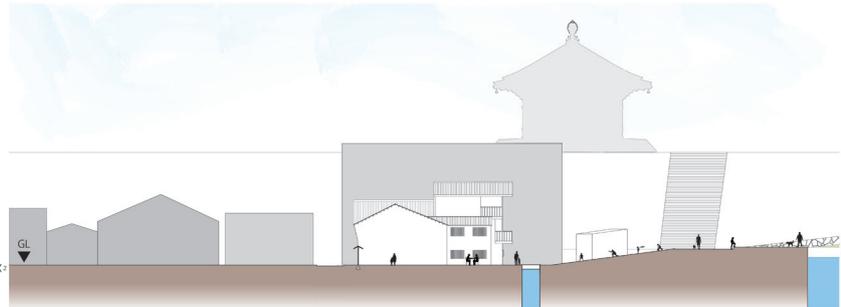
料亭の改修計画



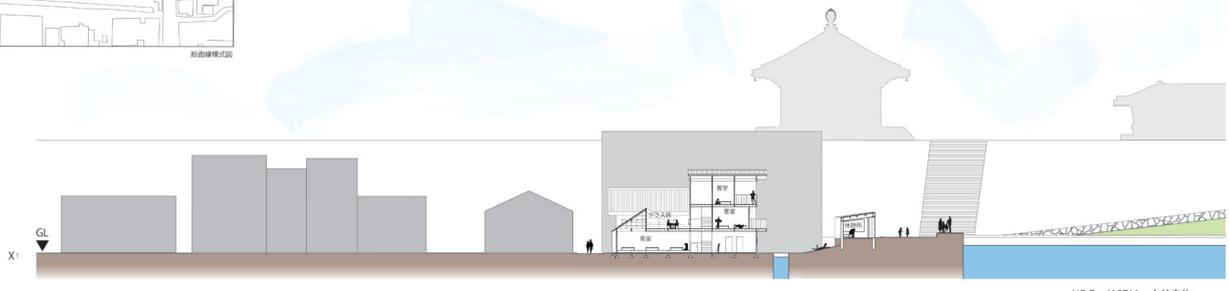
屋根の一面を取り外し、大梁の上に床材を敷く。梁など切断するため、けらは部分の材を残す、また補強することで強度を保つ。普通の2階とは異なる屋外で食事を楽しむ事が出来る。棟の下にできる壁を利用して簡単な映写なども行うことができる。



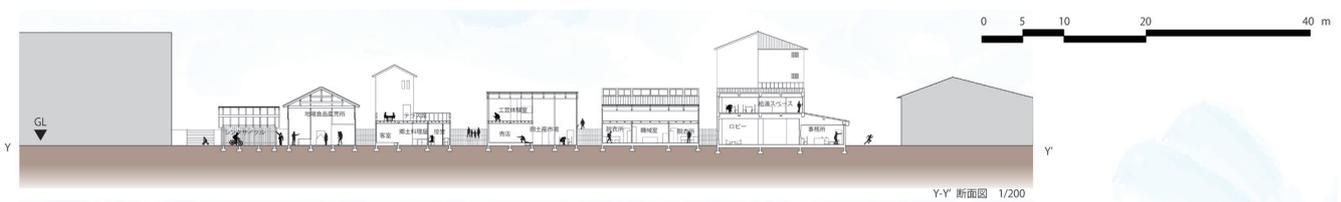
南側立面図 1/200



X2-X2' 断面図 1/200



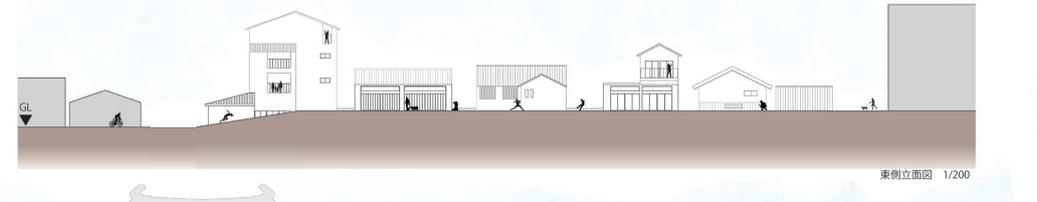
NO.7 410711 木谷圭佑



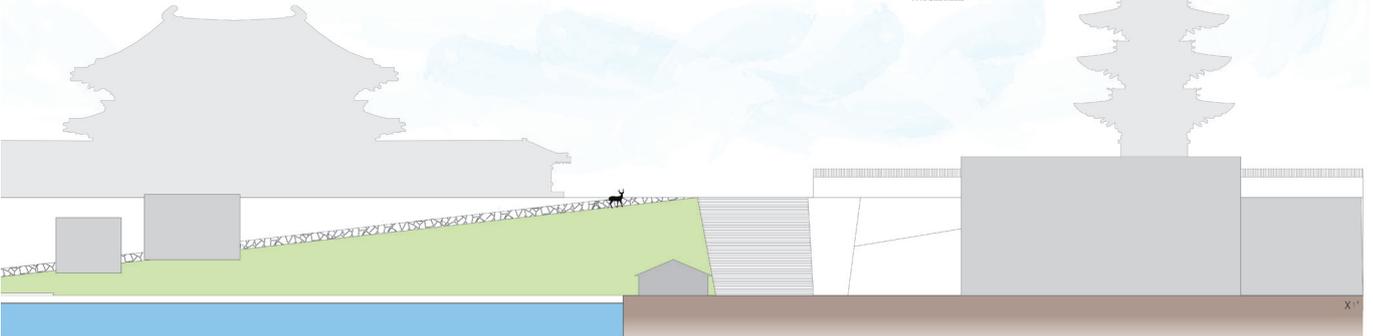
Y-Y' 断面図 1/200



西側立面図 1/200



東側立面図 1/200



X1-X1' 断面図 1/200

NO.8 410711 木谷圭佑



